

回日本輸血学会総会, 2000, 5, 神戸.

- 6) 小湊慶彦, 松井健一, 畑 伸秀, 畑 由紀子, 滝澤久夫, 藤倉 隆: 交通死亡事故における被疑車輛観察の有用性について. 第22回日本法医学会中部地方会, 2000, 10, 名古屋.
- 7) 白井良和, 上村 清, 関 太輔, 諸橋正昭, 滝澤久夫, 北川慎也, 津田孝雄: ヒトスジシマカを誘引する人体のファクターについて. 第44回日本応用動物昆虫学会大会, 2000, 3, 水戸.
- 8) 白井良和, 上村 清, 関 太輔, 諸橋正昭, 滝澤久夫: ABO式血液型および分泌・非分泌型によるヒトスジシマカ誘引の相違. 第52回日本衛生動物学会大会, 2000, 4, 那覇.

内 科 学 (1)

教授(前)	小林 正
助 教 授	大角 誠
講 師	杉山 英
講 師	丸山 宗
助 手	浦風 雅
助 手	春田 哲
助 手(前)	笹岡 利
助 手	山崎 勝
助 手(前)	佐藤 啓
助 手	菓子井 達
助 手	多喜 博
助 手	中村 典
	正治 二
	治春 郎
	安也 啓
	彦文 雄

◆ 著 書

- 1) 小林 正: インスリン療法. 「日本糖尿病療養指導士受験ガイドブック2000—糖尿病療養指導士の学習目標と課題—」日本糖尿病療養指導士認定機構 編, メディカルレビュー社, 東京, 2000.
- 2) 小林 正: 経口薬の進歩. 「糖尿病をめぐる最近の話題(第116回日本医学会シンポジウム記録集)」日本医学会 編, 46-50, 日本医学会, 東京, 2000.
- 3) 小林 正: 監修のことば. 「薬剤師のための糖尿病療養指導マニュアル」薬剤師糖尿病地域医療研究会 編, ミクス, 東京, 2000.
- 4) 小林 正: 薬剤師糖尿病療養指導士のあり方—糖尿病専門薬剤師はなぜ必要か—. 「薬剤師のための糖尿病療養指導マニュアル」薬剤師糖尿病地域医療研究会 編, 10-13, ミクス, 東京, 2000.
- 5) 藤川真理子, 小林 正: 各種糖尿病への薬物療法. 「薬剤師のための糖尿病療養指導マニュアル」薬剤師糖尿病地域医療研究会 編, 37-57, ミクス, 東京, 2000.
- 6) 山崎勝也, 小林 正: 糖尿病電子カルテ (CoDi C™) による糖尿病患者管理. 「別冊プラクティス糖尿病療養指導をすすめる地域ネットワークづくり」(社)日本糖尿病協会 編, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2000.
- 7) 大角誠治: フットケアの実務, 糖尿病性足病変の診察法. 「糖尿病の療養指導2000」日本糖尿病学会 編, 診断と治療社, 東京, 2000.

◆ 原 著

- 1) 藤川真理子, 小林 正: 高齢者糖尿病と在宅医療. Geriatric Medicine 38: 979-993, 2000.
- 2) 河岸由紀男, 大崎緑男, 菓子井達彦, 川崎 聡,

- 藤下 隆, 荒井信貴, 山下直宏, 丸山宗治, 小林正: 低用量Beclomethasone Dipropionate (BDP) 療法導入気管支喘息患者の長期予後に関する検討. アレルギー 49: 391-396, 2000.
- 3) 松田美千代, 松井祥子, 松村理恵子, 澤田愛子, 小林 正: 富山市医療圏の病院, 診療所, 福祉関連施設における在宅酸素療法の現状. 富山市医師会報 356: 10-16, 2000.
- 4) 星山真理, 岩田 実, 山田朋子, 岡田正彦: 変性LDLに対する自己抗体と頸動脈内膜肥厚度の関連. 糖尿病 43: 941-948, 2000.
- 5) Haruta T., Uno T., Kawahara J., Takano A., Egawa K., Sharma P. M., Olefsky J. M., and Kobayashi M.: A rapamycin-sensitive pathway down-regulates insulin signaling via phosphorylation and proteasomal degradation of insulin receptor substrate-1. *Mol Endocrinol*, 14: 783-794, 2000.
- 6) Taki H., Sugiyama E., Kuroda A., Mino T., and Kobayashi M.: Interleukin-4 inhibits interleukin-11 production by rheumatoid synovial cells. *Rheumatology*, 39: 728-731, 2000.
- 7) Usui I., Haruta T., Iwata M., Takano A., Uno T., Kawahara J., Ueno E., Sasaoka T., and Kobayashi M.: Retinoblastoma protein phosphorylation via PI 3-kinase and mTOR pathway regulates adipocyte differentiation. *Biochem Biophys Res Commun*, 275: 115-120, 2000.
- 8) Hayashi R., Yamashita N., Matsui S., Fujita T., Araya J., Sassa K., Arai N., Yoshida Y., Kashii T., Maruyama M., Sugiyama E., and Kobayashi M.: Bradykinin stimulates IL-6 and IL-8 production by human lung fibroblasts through ERK- and p38 MAPK-dependent mechanisms. *Eur Respir J*, 16: 452-458, 2000.
- 9) Mao X., Kashii T., Hayashi R., Sassa K., Fujishita T., Maruyama M., Kobayashi M., and Liu S.: Cloning of differentially expressed sequence tags from nickel-transformed human embryonic lung cells. *Cancer Lett*, 161: 57-62, 2000.
- ◆ 症例報告
- 1) 山崎勝也, 浦風雅春, 佐藤 啓, 中村典雄, 鷹田美智代, 岸田みか, 野畑裕子, 山本典子, 山下 央, 石原 元, 小林 正: シロスタゾール (プレタール[®]) で長期にASOの改善を認めた糖尿病の一症例. *新薬と臨床* 49: 1260-1263, 2000.
- 2) 松井祥子, 山下直宏, 鳴河宗聡, 林 龍二, 吉田良昌, 荒井信貴, 丸山宗治, 小林 正, 北川正信: 慢性関節リウマチに随伴しエリスロマイシンが有効であった細気管支炎の1例. *日本呼吸器学会雑誌* 38: 195-200, 2000.
- 3) 松井祥子, 山下直宏, 丸山宗治, 荒屋 潤, 小田寛文, 藤田 聡, 三輪敏郎, 林 龍二, 荒井信貴, 菓子井達彦, 小林 正: タバコ抽出液に対するリンパ球刺激試験が陽性を示した喫煙による急性好酸球性肺炎の1例. *日本呼吸器学会雑誌* 38: 807-811, 2000.
- 4) 松井祥子, 相川秀彦, 山下直宏, 荒井信貴, 多喜博文, 杉山英二, 丸山宗治, 小林 正: 有痛性筋症状を呈し, シェーグレン症候群を合併したサルコイドーシスの1例. *日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌* 20: 65-69, 2000.
- 5) 林 龍二, 山下直宏, 丸山宗治, 松井祥子, 吉田良昌, 荒井信貴, 小林 正, 北川正信: Bronchiolitis Obliterans Organizing Pneumonia (BOOP) パターンとリンパ濾胞形成を伴う間質性肺炎を合併した原発性シェーグレン症候群の1例. *日本呼吸器学会雑誌* 38: 880-884, 2000.
- 6) 篠田晃一郎, 加藤ひかり, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正: ペーチェット病の経過中に発症し, 自己免疫性膵炎が疑われた1例. *中部リウマチ* 31: 58-59, 2000.
- 7) Taki H., Sugiyama E., and Kobayashi M.: False-positive result of systemic lupus erythematosus latex test induced by anti-insulin antibody. *Scand J Rheumatol*, 29: 270-271, 2000.
- 8) Nakayama K. I., Sugiyama E., Sawazaki S., Taki H., Kobayashi M., Koizumi F., and Furuta I.: Chronic recurrent multifocal osteomyelitis showing marked improvement with corticosteroid treatment. *J Rheumatol*, 27: 1318-1319, 2000.
- ◆ 総 説
- 1) 小林 正: 糖尿病と地域医療—富山県での試み—. *最新医学* 55: 98-101, 2000.
- 2) 小林 正: 2型糖尿病におけるインスリン抵抗性. *医学のあゆみ* 192: 474-478, 2000.
- 3) 小林 正: チアゾリジン誘導体の使い方. *診断と治療* 88: 240-244, 2000.

- 4) 小林 正:糖尿病. 臨床医 26:586-587, 2000.
- 5) 小林 正:インスリン抵抗性改善剤の使用法と糖尿病治療における位置づけ. 臨床医 26:28-31, 2000.
- 6) 小林 正:チアゾリジン誘導体pioglitazoneの安全性. 実験治療 658:57-61, 2000.
- 7) 小林 正:2型糖尿病治療の現状と将来—新しい薬物治療をめぐって—. 実験治療 658:2-5, 2000.
- 8) 小林 正:糖尿病患者教育のさまざまな試み. プラクティス 17:477-478, 2000.
- 9) 小林 正:1型・2型糖尿病における強化インスリン療法は糖尿病合併症の発症・進展抑制にどこまで有効か. EBMジャーナル 1:58-62, 2000.
- 10) 小林 正:2型糖尿病の病期診断とそれに基づく治療戦略. Medical Practice 17:14-22, 2000.
- 11) 小林 正:経口糖尿病治療薬. 総合臨床 49:17-21, 2000.
- 12) 小林 正:骨格筋・脂肪細胞におけるインスリン作用. 日本医師会雑誌 123:9-12, 2000.
- 13) 小林 正:経口薬の進歩. 日本医学会(第116回日本医学会シンポジウム)46-50, 2000.
- 14) 小林 正, 春田哲郎, 岩田 実:チアゾリジン誘導体の作用機序. 日本臨床58:5-8, 2000.
- 15) 小林 正, 岩田 実, 春田哲郎:ピオグリタゾン. 日本臨床 58:121-126, 2000.
- 16) 小林 正, 岩田 実, 春田哲郎:ピオグリタゾン. 内分泌・糖尿病科 10:113-121, 2000.
- 17) 小林 正, 岩田 実, 春田哲郎:インスリン抵抗性改善薬の最新動向. Annual Review 内分泌, 代謝 2000 I-B:29-33, 2000.
- 18) 大角誠治, 小林 正:ピグアナイド剤. 臨床と薬物治療 19:768-771, 2000.
- 19) 大角誠治, 小林 正:糖尿病と合併症の治療方針をどう立てるか. Medicina 37:1908-1911, 2000.
- 20) 大角誠治:糖尿病性神経障害治療剤〜メキシレチン〜. 医薬ジャーナル 36:153-157, 2000.
- 21) 大角誠治, 横内敬二, 光島 徹:随時尿を用いた尿中IV型コラーゲン測定による糖尿病性腎症早期診断スクリーニングの検討. 医学と薬学 43:1189-1194, 2000.
- 22) 春田哲郎:インスリン受容体異常症の遺伝子診断. 臨床成人病 30:384-386, 2000.
- 23) 春田哲郎:組織特異的インスリン受容体欠損マウス. 内分泌・糖尿病科 11:285-290, 2000.
- 24) 笹岡利安, 小林 正:インスリン標的細胞でのインスリン作用の多様性. 日本臨床 58:291-296, 2000.
- 25) 笹岡利安:糖取り込みへのインスリンシグナルと2型糖尿病での障害部位解明の現況. プラクティス 17:9-11, 2000.
- 26) 笹岡利安:インスリン受容体基質と2型糖尿病. プラクティス 17:113-115, 2000.
- 27) 笹岡利安:PPAR γ の病態での役割とその制御によるインスリン抵抗性の改善. プラクティス 17:235-237, 2000.
- 28) 笹岡利安:インスリン作用の組織特異的役割. プラクティス 17:341-343, 2000.
- 29) 笹岡利安:糖尿病とインスリン受容体異常症. プラクティス 17:581-583, 2000.
- 30) 笹岡利安:MAPキナーゼとインスリン作用における役割. 医学のあゆみ 192:416-421, 2000.
- 31) 笹岡利安:リピッドホスファターゼSHIPとインスリン作用. 分子糖尿病学の進歩—基礎から臨床まで—2000 34-40, 2000.
- 32) 笹岡利安, 村上史峰, 小林 正:分子構築からみたインスリンの生物学的作用. Diabetes Frontier 11:463-470, 2000.
- 33) 笹岡利安:インスリン作用の負の調節機構. プラクティス 17:461-463, 2000.
- 34) 山崎勝也, 小林 正:病診連携の重要性. 日本内科学会雑誌 89:113-117, 2000.
- 35) 佐藤 啓, 小林 正:遊離脂肪酸とマルチプルリスクファクター. Bio Clinica 15:743-747, 2000.
- 36) Sasaoka T., and Kobayashi M.: The functional significance of Shc in insulin signaling as a substrate of the insulin receptor. Endocrin J, 47:373-381, 2000.

◆ 学会報告

- 1) 菓子井達彦, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤下 隆, 佐々和彦, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林正, 山下直宏, 野村邦紀:切除不能非小細胞肺癌におけるPaclitaxel, CBDCA + 放射線同時併用療法の検討. 第41回日本肺癌学会北陸部会, 2000, 2, 金沢.
- 2) 三輪敏郎, 菓子井達彦, 小田寛文, 藤下 隆, 佐々和彦, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林正, 山下直宏:Paclitaxel, CBDCA併用療法時のplatelet sparing effectにおける内因性サイトカインの影響. 第41回日本肺癌学会北陸部会, 2000, 2, 金沢.
- 3) 小田寛文, 菓子井達彦, 三輪敏郎, 藤下 隆,

- 佐々和彦, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林正, 山下直宏: 原発性肺癌における血清1型コラーゲンC末端テロペプチド (ICTP) および1型プロコラーゲンC末端プロペプチド (PICP) の検討. 第41回日本肺癌学会北陸部会, 2000, 2, 金沢.
- 4) 浅水幸恵, 三輪敏郎, 菓子井達彦, 小田寛文, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林正, 山下直宏, 土岐善紀, 原祐郁, 高野康雄: 多発性肺転移を認めた上顎原発腺様嚢胞癌の1例. 第41回日本肺癌学会北陸部会, 2000, 2, 金沢.
- 5) 鍋木優子, 松井祥子, 菓子井達彦, 小田寛文, 三輪敏郎, 荒井信貴, 丸山宗治, 小林正, 山下直宏, 野村邦紀: 前胸部腫瘤にて発見された肺扁平上皮癌の1例. 第41回日本肺癌学会北陸部会, 2000, 2, 金沢.
- 6) 三輪重治, 松井祥子, 菓子井達彦, 深川晃範, 小田寛文, 三輪敏郎, 荒井信貴, 丸山宗治, 小林正, 山下直宏, 土岐善紀, 原祐郁: 好酸球性肺炎の経過観察中に発見された悪性胸膜腫の1例. 第41回日本肺癌学会北陸部会, 2000, 2, 金沢.
- 7) 浦風雅春: 糖尿病と動脈硬化. 第61回日本糖尿病学会中部地方会, 2000, 3, 富山.
- 8) 菓子井達彦, 中村典雄, 小田寛文, 三輪敏郎, 荒井信貴, 松井祥子, 山下直宏, 丸山宗治, 小林正: Paclitaxelを含む肺癌化学療法における末梢神経障害の神経伝導速度による評価. 第40回日本呼吸器学会総会, 2000, 3, 広島.
- 9) 松井祥子, 山下直宏, 林龍二, 藤田聡, 荒屋潤, 荒井信貴, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林正: TGF- β 刺激ヒト肺線維芽細胞のフィブロネクチン産生に及ぼすinterleukin-4の影響. 第40回日本呼吸器学会総会, 2000, 3, 広島.
- 10) 平井康子, 大角誠治, 藤川真理子, 中村典雄, 佐藤啓, 山崎勝也, 笹岡利安, 小林正: 糖尿病患者におけるナイロンモノフィラメントを用いた足知覚障害の評価. 第61回日本糖尿病学会中部地方会, 2000, 3, 富山.
- 11) 薄井勲, 山崎勝也, 小林正: 異常ヘモグロビン (Hb Niigata) にてHbA1c値が異常高値を示した非糖尿病の2症例. 第180回日本内科学会北陸地方会, 2000, 3, 富山.
- 12) 三輪敏郎, 菓子井達彦, 小田寛文, 荒井信貴, 松井祥子, 山下直宏, 丸山宗治, 小林正: 非小細胞肺癌化学療法におけるpaclitaxelの感受性に及ぼす血清 α 1酸性糖蛋白の影響. 第40回日本呼吸器学会総会, 2000, 3, 広島.
- 13) 藤田聡, 丸山宗治, 荒屋潤, 林龍二, 佐々和彦, 松井祥子, 菓子井達彦, 山下直宏, 小林正: 肺胞II型上皮細胞株 (A549 cell) における過酸化水素 (H_2O_2) によるFasの発現について. 第40回日本呼吸器学会総会, 2000, 3, 広島.
- 14) 鷹田美智代, 佐藤啓, 山崎勝也, 中村典雄, 春田哲郎, 笹岡利安, 浦風雅春, 大角誠治, 小林正, 大津山實, 諸橋正昭: インスリン注射部位に発症した皮膚ノカルジア症の1例. 第61回日本糖尿病学会中部地方会, 2000, 3, 富山.
- 15) 荒屋潤, 丸山宗治, 佐々和彦, 藤田聡, 林龍二, 松井祥子, 菓子井達彦, 山下直宏, 小林正: A549細胞における放射線照射によるmatrix metalloproteinase-2産生増強作用. 第40回日本呼吸器学会総会, 2000, 3, 広島.
- 16) 荒屋潤, 丸山宗治, 藤田聡, 佐々和彦, 林龍二, 松井祥子, 菓子井達彦, 山下直宏, 小林正: コバルトによる肺障害の検討. 第40回日本呼吸器学会総会, 2000, 3, 広島.
- 17) 河岸由紀男, 大崎緑男, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林正, 谷口正美, 前田裕二, 長谷川真紀, 秋山一男: アスピリン喘息における末梢血好酸球LTC4合成酵素活性の検討. 第40回日本呼吸器学会総会, 2000, 3, 広島.
- 18) 北澤勉, 飯田恵, 野村智, 山下尚洋, 手丸理恵, 山口正木, 五島敏, 南真司, 浦風雅春, 小林正: 著明な両下肢浮腫を伴ったクッシング症候群の1例. 第180回日本内科学会北陸地方会, 2000, 3, 富山.
- 19) 加村裕, 西田邦洋, 山田一樹, 原田武, 安藤隆夫, 齊藤隆生, 月城孝志, 高橋芳右, 小林正: 後天性第VIII因子阻害物質により腸腰筋血腫をきたし, 血漿交換が有効であった1例. 第180回日本内科学会北陸地方会, 2000, 3, 富山.
- 20) 山崎継敬, 松井祥子, 丸山宗治, 小田寛文, 三輪敏郎, 荒井信貴, 菓子井達彦, 山下直宏, 小林正: オウム病の1例. 第180回日本内科学会北陸地方会, 2000, 3, 富山.
- 21) 澤崎茂樹, 福居和人, 多喜博文, 蓑毅峰, 篠田晃一郎, 原田修次, 杉山英二, 小林正: 慢性関節リウマチおよびシェーグレン症候群に肺高血圧症を合併した1例. 第44回日本リウマチ学会総会, 2000, 4, 横浜.
- 22) 澤崎茂樹, 多喜博文, 蓑毅峰, 篠田晃一郎, 原田修次, 杉山英二, 小林正: RS3PE症候群を初発症状とした悪性リンパ腫の1例. 第44回日本リウマチ学会総会, 2000, 4, 横浜.
- 23) Harada, S., Sugiyama, E., Taki, H., Mino,

- T., Shinoda, K., Maruyama, M., Kobayashi, M., Kanekasu, K., Kato, H.: Effect of D-penicillamine on the expression and function of Fas antigen in rheumatoid synovial fibroblasts. (English Workshop). 第44回日本リウマチ学会総会, 2000, 4, 横浜.
- 24) 山崎勝也, 小林 正: 医療スタッフの研修—看護婦, 栄養士, 薬剤師の研修—. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 25) 佐藤 啓, 笹岡利安, 浦風雅春, 山崎勝也, 中村典雄, 鷹田美智代, 石倉裕子, 岸田みか, 石木学, 小林 正: 血管平滑筋細胞増殖におけるグルコサミンによるグリコシレーションのPDGFシグナル伝達に及ぼす影響. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 26) 中村典雄, 山崎勝也, 佐藤 啓, 石倉裕子, 鷹田美智代, 岸田みか, 山本典子, 浦風雅春, 小林正: 2型糖尿病患者におけるEparlestatの血漿AGE濃度におよぼす影響. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 27) 藤川眞理子, 平井康子, 山崎勝也, 浦風雅春, 笹岡利安, 大角誠治, 小林 正: 糖尿病患者教育における心療内科的アプローチのための交流分析の活用. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 28) 平井康子, 朝日寿実, 大角誠治, 小林 正: 糖尿病患者における内因性誘発電位P300の検討(第2報), ABERとP300を用いた中枢神経機能の評価. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 29) 薄井 勲, 春田哲郎, 岩田 実, 宇野立人, 高野敦子, 川原順子, 笹岡利安, 小林 正: mTORを介するアミノ酸シグナルとインスリンシグナルとのクロストーク. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 30) 石木 学, 佐藤 啓, 浦風雅春, 山崎勝也, 中村典雄, 村上史峰, 奥田忠行, 関根道和, 大角誠治, 小林 正: 糖尿病患者の血圧変動スペクトル解析による心血管系自律神経障害の検討. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 31) 岩田 実, 春田哲郎, 薄井 勲, 宇野立人, 高野敦子, 和田 努, 石原 元, 笹岡利安, 川原順子, 小林 正: Pioglitazoneのインスリン抵抗性改善作用におけるPPAR γ の役割について. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 32) 宇野立人, 春田哲郎, 川原順子, 薄井 勲, 高野敦子, 岩田 実, 和田 努, 石原 元, 笹岡利安, 小林 正: mTORによるインスリンシグナル伝達抑制機構の解明. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 33) 高野敦子, 春田哲郎, 川原順子, 宇野立人, 岩田 実, 薄井 勲, 石橋 修, 笹岡利安, 小林正: インスリン刺激によるIRS-1の細胞内局在変化とdegradationにおけるmTOR (mammalian target of rapamycin) シグナル経路の役割. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 34) 鷹田美智代, 浦風雅春, 石倉裕子, 岸田みか, 山本典子, 手丸理恵, 中村典雄, 山崎勝也, 佐藤啓, 小林 正: 培養血管内皮細胞におけるP44/42 MAP kinaseの活性及ぼす高濃度グルコースの影響とpravastatinの抑制作用. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 35) 石倉裕子, 浦風雅春, 鷹田美智代, 岸田みか, 山本典子, 手丸理恵, 山崎勝也, 佐藤 啓, 中村典雄, 小林 正: 高濃度グルコースの培養血管内皮細胞におけるI κ B- α の活性化作用—トロンビン刺激での検討. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 36) 和田 努, 笹岡利安, 石原 元, 堀 宏之, 石木学, 村上史峰, 春田哲郎, 小林 正: SHIP2によるPI3キナーゼ代謝産物の制御が脂肪細胞でのインスリン代謝作用シグナルに及ぼす影響の検討. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 37) 岸田みか, 浦風雅春, 鷹田美智代, 石倉裕子, 手丸理恵, 山本典子, 佐藤 啓, 中村典雄, 山崎勝也, 小林 正: 培養血管平滑筋細胞におけるIL-8の遊走能亢進作用—MAPKの関与について—. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 38) 川原順子, 春田哲郎, 岩田 実, 宇野立人, 高野敦子, 薄井 勲, 笹岡利安, 小林 正: インスリン長期刺激によるIRS-1のDegradationにおけるユビキチン化の役割. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 39) 堀 宏之, 笹岡利安, 石原 元, 和田 努, 石木学, 村上史峰, 春田哲郎, 小林 正: L6骨格筋細胞においてSHIP2がインスリンのグリコーゲン合成に及ぼす影響の検討. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 40) 村上史峰, 笹岡利安, 石原 元, 和田 努, 堀宏之, 石木学, 春田哲郎, 小林 正: インスリンによるSHIP2 チロシンリン酸化機構の解明.

- 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 41) 山下 央, 山崎勝也, 中村典雄, 佐藤 啓, 藤川真理子, 笹岡利安, 春田哲郎, 浦風雅春, 大角誠治, 小林 正: Computerized Diabetes Care (CoDiC™) を使用した糖尿病臨床データの解析. 第43回日本糖尿病学会年次学術集会, 2000, 5, 名古屋.
- 42) 河岸由紀男, 荒井信貴, 森岡潤一郎, 谷口浩和, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 山下直宏, 大崎緑男, 三田晴久, 谷口正実, 秋山一男: アスピリン喘息におけるロイコトリエンC4 合成酵素遺伝子プロモーター多型の検討. 第45回日本呼吸器学会合同地方会, 2000, 5, 金沢.
- 43) 山寄継敬, 多喜博文, 杉山英二, 澤崎茂樹, 篠田晃一郎, 原田修次, 丸山宗治, 小林 正: サラゾスルファピリジンが有効と考えられたHLA-B27陽性反応性関節炎の1例. 第181回日本内科学会北陸地方会, 2000, 6, 金沢.
- 44) 松田美千代, 松井祥子, 松村理恵子, 澤田愛子, 小林 正: 在宅酸素療法患者の栄養状態と予後の関連. 第42回日本老年医学会学術集会, 2000, 6, 仙台.
- 45) 谷口浩和, 加藤ひかり, 菓子井達彦, 井上 昭, 小田寛文, 三輪敏郎, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 山下直宏, 石澤 伸: 末梢血好酸球数増多を伴った肺大細胞癌の1例. 第42回日本肺癌学会北陸部会, 2000, 7, 福井.
- 46) 岩田 実, 松井祥子, 丸山宗治, 谷口浩和, 小田寛文, 三輪敏郎, 荒井信貴, 菓子井達彦, 山下直宏, 小林 正: 臭化ジスチグミンによりコリン作動性クリーゼを来した急性呼吸不全を呈した1例. 第182回日本内科学会北陸地方会, 2000, 9, 福井.
- 47) 松井祥子, 杉山英二, 多喜博文, 若木邦彦, 土岐善紀, 原 祐郁, 松井千尋, 澤崎茂樹, 丸山宗治, 小林 正: 高 γ グロブリン血症性紫斑病を合併した肺リンパ増殖性疾患の1例. 第12回中部リウマチ学会総会, 2000, 9, 岐阜.
- 48) 谷口浩和, 多喜博文, 石澤 伸, 岡田英吉, 澤崎茂樹, 杉山英二, 小林 正: 嘔声を初発症状とし血球貪食症候群を呈した全身性エリテマトーデスの1例. 第12回中部リウマチ学会総会, 2000, 9, 岐阜.
- 49) 谷口浩和, 澤崎茂樹, 福居和人, 多喜博文, 岡田英吉, 杉山英二, 小林 正: 血管炎による上・下腸間膜動脈瘤の破裂により死亡した悪性関節リウマチの1例. 第12回中部リウマチ学会総会, 2000, 9, 岐阜.
- 50) 鈴木健介, 三輪敏郎, 多喜博文, 石澤 伸, 松井千尋, 大森一生, 澤崎茂樹, 杉山英二, 小林 正: Pramlukast投与中に発症したアレルギー性肉芽腫性血管炎の1例. 第12回中部リウマチ学会総会, 2000, 9, 岐阜.
- 51) 松田美千代, 松井祥子, 松村理恵子, 澤田愛子, 小林 正: 富山市医療圏の病院、診療所における在宅酸素療法の現状. 第10回日本呼吸管理学会学術総会, 2000, 9, 沖縄.
- 52) 奥田忠行, 佐竹伊津子, 細谷孝子, 大門良男, 小方則夫, 佐藤 啓, 大角誠治: 健常人における血圧変動スペクトル解析の再現性について. 第25回北陸臨床病理集談会総会, 2000, 9, 福井.
- 53) 大角誠治, 横内敬二, 光島 徹: 随時尿を用いた尿中IV型コラーゲン測定による糖尿病性腎症早期診断スクリーニングの検討. 第15回日本糖尿病合併症学会, 2000, 10, 東京.
- 54) 笹岡利安: インスリン作用とその異常. 第62回日本糖尿病学会中部地方会, 2000, 10, 岐阜.
- 55) 村上史峰, 福居和人, 中村典雄, 山崎勝也, 佐藤 啓, 笹岡利安, 浦風雅春, 大角誠治, 小林 正: 卵巣過剰刺激症候群を呈した1型糖尿病妊婦の1例. 第62回日本糖尿病学会中部地方会, 2000, 10, 岐阜.
- 56) 菓子井達彦, 三輪敏郎, 小田寛文, 井上 昭, 松井祥子, 丸山宗治, 山下直宏, 小林 正: Paclitaxel, carboplatin併用化学療法時のplatelet-sparing effectと血中サイトカインの検討. 日本癌治療学会総会, 2000, 10, 仙台.
- 57) 菓子井達彦, 藤下 隆, 小田寛文, 三輪敏郎, 佐々和彦, 松井祥子, 山下直宏, 丸山宗治, 小林 正: 非小細胞肺癌細胞株におけるMRP1, MDR1, HER2/neu遺伝子の発現と新規抗癌剤感受性の検討. 第41回日本肺癌学会総会, 2000, 10, 東京.
- 58) 松井祥子, 山下直宏, 丸山宗治, 小林 正: 第二子, 第三子の出産後に増悪を繰り返したサルコイドーシスの1例. 第20回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会, 2000, 10, 別府.
- 59) 三輪敏郎, 菓子井達彦, 小田寛文, 佐々和彦, 松井祥子, 山下直宏, 丸山宗治, 小林 正: Paclitaxel, carboplatin併用時のplatelet sparing effectにおける血中サイトカインの検討. 第41回日本肺癌学会総会, 2000, 10, 東京.
- 60) 松田美千代, 松井祥子, 松村理恵子, 澤田愛子, 小林 正: 富山市医師会地域内の医療機関, 社会

- 福祉関連施設における在宅酸素療法の現状. 第11回日本老年医学会北陸地方会, 2000, 10, 富山.
- 61) 河岸由紀男, 荒井信貴, 森岡潤一郎, 谷口浩和, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 山下直宏, 大崎緑男, 三田晴久, 谷口正実, 秋山一男: アスピリン喘息における5-Lipoxygenase遺伝子プロモーター多型の検討. 第46回日本呼吸器学会合同地方会, 2000, 11, 福井.
- 62) 河岸由紀男, 大崎緑男, 荒井信貴, 谷口浩和, 丸山宗治, 小林 正, 谷口正実, 三田晴久, 秋山一男: アスピリン喘息におけるLTC₄合成酵素遺伝子プロモーター多型とLTs産生の関連について. 第50回日本アレルギー学会総会, 2000, 11-12, 横浜.
- 63) 和田 努, 笹岡利安, 石原 元, 堀 宏之, 村上史峰, 石木 学, 春田哲郎, 小林 正: インスリン刺激によるPI3-Kinaseの下流分子活性化に対するSHIP2の役割. 第12回分子糖病学シンポジウム, 2000, 12, 仙台.
- 64) Wada T., Sasaoka T., Ishihara H., Hori H., Ishiki M., and Kobayashi M.: Role of SH2-containing inositol 5'-phosphatase 2 (SHIP2) in the regulation of insulin signaling. Keystone Symposium, 2000, 2, Taos.
- 65) Matsui S., Yamashita N., Maruyama M., Hayashi R., Arai N., Fujita T., Sassa K., Kashii T., Araya J., Miwa T., Oda H., and Kobayashi M.: Effects of dexamethasone and IL-4 on TGF- β 1-induced fibronectin production by human lung fibroblasts. American Thoracic Society 2000 International Conference, 2000, 5, Toronto, Canada.
- 66) Nakamura N., Hakazaki T., Sawazaki S., and Kobayashi M.: HMG-CoA reductase inhibitors and plasma polyunsaturated fatty acid profile. 4th Congress of the International Society for the Study of Fatty Acids and Lipids, 2000, 6, Tsukuba.
- 67) Nakamura N., Hamazaki T., Yamazaki K., Urakaze M., Sawazaki S., Satoh A., Fujikawa M., Ohta M., Okuda K., and Kobayashi M.: Effects of eicosapentaenoic acids on remnant-like particles cholesterol concentrations and plasma fatty acid composition in patients with diabetes mellitus. 4th Congress of the International Society for the Study of Fatty Acids and Lipids, 2000, 6, Tsukuba.
- 68) Nakamura N., Hamazaki T., Johkaji H., Minami S., Yamazaki K., Urakaze M., Sawazaki S., Satoh A., Fujikawa M., and Kobayashi M.: Effects of cilostazol on serum lipid concentrations and plasma fatty acid composition in diabetic patients with peripheral vessel diseases. 4th Congress of the International Society for the Study of Fatty Acids and Lipids, 2000, 6, Tsukuba.
- 69) Usui I., Haruta T., Uno T., Kawahara J., and Kobayashi M.: Cross-talk between amino acid signaling and insulin signaling through mTOR-mediated IRS-1 degradation. American Diabetes Association 60th Scientific Sessions, 2000, 6, San Antonio.
- 70) Iwata M., Usui I., Uno T., Takano A., Kawahara J., and Haruta T.: Pioglitazone antagonizes TNF- α -induced insulin resistance by a mechanism independent of differentiation-promoting activity of PPAR- γ . American Diabetes Association 60th Scientific Sessions, 2000, 6, San Antonio.
- 71) Uno T., Kawahara J., Takano A., Iwata M., Usui I., and Haruta T.: PMA-induced Ser/Thr phosphorylation of IRS-1 mediated by rapamycin-sensitive pathway. American Diabetes Association 60th Scientific Sessions, 2000, 6, San Antonio.
- 72) Takano A., Uno T., Kawahara J., Iwata M., Usui I., Haruta T., and Kobayashi M.: mTOR signaling pathway regulates insulin-induced redistribution and degradation of IRS-1 in 3T3-L1 adipocytes. American Diabetes Association 60th Scientific Sessions, 2000, 6, San Antonio.
- 73) Takata M., Urakaze M., Kishida M., Yamamoto N., Temaru R., Nakamura N., Sato A., Yamazaki K., and Ishikura Y.: Pravastatin prevents the activation of P44/42 MAP kinase induced by high glucose in human aortic endothelial cells. American Diabetes Association 60th Scientific Sessions, 2000, 6, San Antonio.
- 74) Kishida M., Urakaze M., Takata M., Ishikura Y., Temaru R., Sato A., Nakamura N., Yamazaki K., and Yamamoto N.: Interleukin-8 (IL-8) activates p44/42 MAP kinase in

- human aortic smooth muscle cells. American Diabetes Association 60th Scientific Sessions, 2000, 6, San Antonio.
- 75) Kawahara J., Haruta T., Uno T., Takano A., Iwata M., and Kobayashi M.: mTOR signaling pathway regulates insulin-stimulated ubiquitination of IRS-1. American Diabetes Association 60th Scientific Sessions, 2000, 6, San Antonio.
- 76) Hori H., Sasaoka T., Wada T., Ishiki M., Murakami S., Ishihara H., and Kobayashi M.: Role of SH2-containing inositol 5-phosphatase 2 (SHIP2) in the regulation of insulin-induced glycogen synthesis. American Diabetes Association 60th Scientific Sessions, 2000, 6, San Antonio.
- 77) Urakaze M., Takata M., Sato A., and Kobayashi M.: Suppressive effect of pravastatin on the p44/42 MAP kinase activation induced by high glucose and/or thrombin in human aortic endothelial cells. International Symposium for Insulin Resistance and Atherosclerosis, 2000, 7, Osaka.
- 78) Sato A., Sasaoka T., Yamazaki K., Nakamura N., Takata M., Urakaze M., and Kobayashi M.: Enhancing effect of glucosamine on PDGF-induced mitogenesis via PI3-kinase pathway-Involvement of O-glycosylation in PDGF signal cascade-. International Symposium for Insulin Resistance and Atherosclerosis, 2000, 7, Osaka.
- 79) Hayashi R., Yamashita N., Maruyama M., Kashii T., Matsui S., Fujita T., Araya J., Sassa K., and Kobayashi M.: Bradykinin stimulates IL-8 and PGE₂ production by human lung fibroblasts through p38 MAP kinase-dependent mechanisms. World Congress of Lung Health and 10th ERS Annual Congress, 2000, 8-9, Florence, Italy.
- 80) Fujita T., Maruyama M., Sassa K., Araya J., Hayashi R., Kashii T., Matsui S., Yamashita N., and Kobayashi M.: Hydrogen peroxide induces upregulation of Fas in type II alveolar epithelial cells (A549). World Congress of Lung Health and 10th ERS Annual Congress, 2000, 8-9, Florence, Italy.
- 81) Araya J., Maruyama M., Fujita T., Sassa K., Hayashi R., Kashii T., Yamashita N., and Kobayashi M.: Cobalt induces cell surface Fas expression in lung epithelial cells. World Congress of Lung Health and 10th ERS Annual Congress, 2000, 8-9, Florence, Italy.
- 82) Kobayashi M.: Diabetes in Japan. International Symposium on Computer and Diabetes Care, 2000, 9, Rochester, USA.
- 83) Sasaoka T., Wada T., Hori H., Murakami S., Ishiki M., Haruta T., Ishihara H., and Kobayashi M.: Regulation of insulin signaling by SHIP2. The Third Insulin Action Symposium, 2000, 9, Awaji.
- 84) Kashii T.: Biweekly combination chemotherapy of paclitaxel and carboplatin in patients with non-small cell lung cancer: A pilot study. Lung Cancer Symposium Toyama 2000, 2000, 9, Toyama.
- 85) Kashii T., Miwa T., Oda H., Sassa K., Maekawa A., Yamamoto T., Arai N., Matsui S., Yamashita N., Maruyama M., and Kobayashi M.: Evaluation of serum alfa-1 acid glycoprotein(AAG) for efficiency of paclitaxel in patients with non-small cell lung cancer (NSCLC). 9th World Conference on Lung Cancer, 2000, 9, Tokyo.
- 86) Sassa K., Maruyama M., Fujita T., Araya J., Kashii T., Yamashita N., and Kobayashi M.: Fourteen-membered ring macrolide cooperate with chemotherapeutic agents to enhance apoptosis in human non-small lung cancer cells. 9th World Conference on Lung Cancer, 2000, 9, Tokyo.
- 87) Fujishita T., Kashii T., Maruyama M., and Kobayashi M.: Association between gene alteration and drug sensitivity of new anticancer agents in human lung carcinoma cell lines. 9th World Conference on Lung Cancer, 2000, 9, Tokyo.
- 88) Miwa T., Kashii T., Oda H., Sassa K., Arai N., Matsui S., Yamashita N., Maruyama M., and Kobayashi M.: Association of serum cytokines (G-CSF, GM-CSF, IL-6, IL-11, thrombopoietin) and thrombocytopenia in non-small cell lung cancer (NSCLC) patients treated with paclitaxel and carboplatin (C

- BDCA). 9th World Conference on Lung Cancer, 2000, 9, Tokyo.
- 89) Oda H., Kashii T., Miwa T., Sassa K., Arai N., Matsui S., Yamashita N., Maruyama M., and Kobayashi M.: Serum concentrations of carboxyterminal telopeptide of type I collagen (ICTP) and aminoterminal propeptide of type I collagen (PICP) as biochemical markers for bone metastasis of primary lung cancer. 9th World Conference on Lung Cancer, 2000, 9, Tokyo.
- 90) Sugiyama E., Kuroda A., Taki H., Harada S., Shinoda K., and Kobayashi M.: Interleukin-4 inhibits the expression of cytosolic phospholipase A₂ in rheumatoid synovial cells through JAK/Stat6 pathway. 64th Annual Scientific Meeting of American College of Rheumatology, 2000, 10, Philadelphia.
- 91) Sugiyama E., Taki H., Shinoda K., Harada S., and Kobayashi M.: Serum matrix metalloproteinase-3 levels in rheumatoid arthritis and inflammatory diseases without arthritis; correlation with clinical and laboratory indices of disease activity. 64th Annual Scientific Meeting of American College of Rheumatology, 2000, 10, Philadelphia.
- 92) Shinoda K., Sugiyama E., Taki H., Harada S., and Kobayashi M.: Synovial T cells are capable of differentiating osteoclast-like cells from rheumatoid synovial macrophages. 64th Annual Scientific Meeting of American College of Rheumatology, 2000, 10, Philadelphia.
- 93) Kawagishi Y., Mita H., Oosaki R., Taniguchi M., Kashii T., Maruyama M., Akiyama K., and Kobayashi M.: Polymorphism in the promoter region of leukotriene C4 synthase in Japanese. International Congress of Allergology and Clinical Immunology, 2000, 10, Sydney.
- 94) Ohgaku S., Hirai Y., and Kobayashi M.: Evaluation of central nerve function in diabetic patients through the analysis of auditory evoked brainstem response (AEBR), P300 and autonomic nerve function. The XVIth IDF Congress, 2000, 11, Mexico.
- ◆ その他
- 1) 小林 正: 2型糖尿病. 日経メディカル 4:123-126, 2000.
- 2) 小林 正: <座談会>糖尿病患者に対する服薬指導のあり方. Current Diabetes 2:3-12, 2000.
- 3) 小林 正: インスリン治療を始めるとき. アピス 27:2-3, 2000.
- 4) 小林 正: <座談会>2型糖尿病におけるインスリン療法とペン型インスリン注入器. 日経メディカル 3:86-89, 2000.
- 5) 小林 正: 糖尿病と地域医療. ベんちのーと 13:1, 2000.
- 6) 小林 正, 藤川真理子: 県ぐるみの糖尿病患者管理. 新薬と治療 50:22-25, 2000.
- 7) 山崎勝也, 小林 正, 折笠秀樹, 本田万知子: 富山県糖尿病地域医療における効果の検証—富山県アタックプラン—. 平成11年度厚生科学研究疾病管理による保健サービスの経済的評価報告書 2000.
- 8) 佐藤 啓, 杉山英二, 小林 正: 高安動脈炎. 1年半, 確定診断が得られなかった不明熱の若年女性. CLINICIAN 493:3, 39-40, 2000.
- 9) 中村典雄: Eicosapentaenoic acid (EPA) と HMG-CoA reductase inhibitor併用療法について. 循環 21:22-25, 2000.
- 10) 松田美千代, 松井祥子, 松村理恵子, 澤田愛子, 小林 正: 在宅酸素療法患者の栄養状態と予後の関連. 富山医科薬科大学看護学会誌 3:45-50, 2000.
- 11) 福士夕紀子, 小林 正, 山崎勝也, 欺林 毅, 畠山豊正, 山口昌樹: 長期モニタリングを目指した非侵襲血糖測定に用いる酵素試験紙. 電子情報通信学会技術研究報告 OME2000-61:19-24, 2000.
- 12) 大角誠治: シンポジウム「フットケアの実務, 糖尿病性足病変の診察法」. 第34回糖尿病学の進歩, 2000, 3, 札幌.
- 13) 河岸由紀男, 大崎緑男, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 三田晴久, 谷口正実, 長谷川真紀, 秋山一男: アスピリン喘息におけるロイコトリエンC4合成酵素遺伝子プロモーター多型の検討. 第41回日本アスピリン喘息研究会, 2000, 3, 名古屋.
- 14) 鷹田美智代, 浦風雅春, 石倉裕子, 岸田みか, 山本典子, 手丸理恵, 中村典雄, 佐藤 啓, 山崎勝也, 小林 正: 培養血管内皮細胞におけるpravastatinのIL-8産生抑制作用. 第1回糖尿病とVascular Biology研究会, 2000, 3, 大阪.

- 15) 山崎勝也：パネルディスカッション「糖尿病克服へ向けての地域医療の展開と展望」追加発言。第3回糖尿病地域医療研究会総会，2000，4，東京。
- 16) 中村典雄，山崎勝也，佐藤 啓，浦風雅春，石倉裕子，鷹田美智代，岸田みか，山本典子，小林正：2型糖尿病患者におけるEparlestatの血漿AGE濃度に及ぼす影響。第8回富山糖尿病合併症研究会，2000，4，富山。
- 17) 小田寛文，山崎継敬，三輪敏郎，荒井信貴，松井祥子，菓子井達彦，丸山宗治，小林正：非小細胞肺癌化学療法におけるpaclitaxelによる神経障害に対する芍薬甘草湯の効果。第23回富山肺癌研究会，2000，4，富山。
- 18) 鷹田美智代，佐藤 啓，山崎勝也，中村典雄，春田哲郎，笹岡利安，浦風雅春，大角誠治，小林正：インスリン注射部位に発症した皮膚ノカリア症の1例。第2回富山県糖尿病と感染症研究会，2000，4，富山。
- 19) 浦風雅春：脂質代謝について。富山県栄養士会総会，2000，5，富山。
- 20) 春田哲郎：シンポジウム1「インスリン抵抗性と糖尿病—病態・成因・対応—：PPAR- γ とチアゾリジン誘導体」。第43回日本糖尿病学会年次学術集会，2000，5，名古屋。
- 21) 佐々和彦，丸山宗治，菓子井達彦，藤田 聡，荒屋 潤，山下直宏，小林正：ヒト肺癌細胞株における14員環マクロライドの抗癌剤誘導アポトーシス増強作用の検討。富山癌治療懇話会，2000，5，富山。
- 22) 三輪敏郎，菓子井達彦，井上 昭，小田寛文，荒井信貴，松井祥子，丸山宗治，小林正：Paclitaxel，Carboplatin併用化学療法時のplatelet-sparing effectにおける血中サイトカインの検討。第13回富山癌治療懇話会，2000，5，富山。
- 23) 澤崎茂樹，山崎継敬，多喜博文，篠田晃一郎，原田修次，杉山英二，小林正：RS3PE症候群を初発症状とした悪性リンパ腫の1例。第33回北陸臨床免疫症例／研究会，2000，6，金沢。
- 24) 河岸由紀男，荒井信貴，谷口浩和，森岡潤一郎，菓子井達彦，丸山宗治，小林正，山下直宏，大崎緑男，三田晴久，秋山一男：非発作時尿中LTE4と喘息重症度の相関についての検討。第2回北陸喘息治療研究会，2000，6，金沢。
- 25) 山下 央，山崎勝也，中村典雄，佐藤 啓，鷹田美智代，岸田みか，野畑裕子，山本典子，平井康子，藤川眞理子，笹岡利安，春田哲郎，浦風雅春，大角誠治，小林正：糖尿病患者における尿酸値。第3回北陸痛風高尿酸血症研究会，2000，6，富山。
- 26) 加藤ひかり，三輪敏郎，菓子井達彦，谷口浩和，井上 昭，小田寛文，荒井信貴，松井祥子，丸山宗治，小林正，山下直宏，野村邦紀，原 祐郁，三崎拓郎，石澤 伸：画像上原発性肺癌が疑われ開胸生検でinflammatory pseudotumorと診断された1例。第13回北陸呼吸器疾患懇話会，2000，6，高岡。
- 27) 中島昭勝，柴田和彦，丸山宗治：カンファレンス「喘息の経過中に右下葉の異常陰影と両側胸水を呈した76歳女性」。日本内科学会認定内科専門医会北陸支部オープンカンファレンス，2000，6，金沢。
- 28) 浦風雅春：糖尿病と動脈硬化—血管内皮細胞におけるIL-8産生とその抑制—。第3回岐阜リッドセミナー，2000，7，岐阜。
- 29) 菓子井達彦：肺癌細胞の生物学的特性と臨床的意義。フォーラム富山「創薬」第2回研究会，2000，8，富山。
- 30) 富士夕紀子，小林正，山崎勝也，欺林 毅，畠山豊正，山口昌樹：長期モニタリングを目指した非侵襲血糖測定に用いる酵素試験紙。感性バイオセンサー研究会 in 長野，2000，8，長野。
- 31) 浦風雅春，鷹田美智代，佐藤 啓，山崎勝也，中村典雄，岸田みか，石倉裕子，手丸理恵，小林正：プラバスタチンの抗動脈硬化作用—血管内皮細胞におけるIL-8産生抑制を介して—。第2回富山生活習慣病を考える会，2000，9，富山。
- 32) 小林正，春田哲郎：シンポジウム43「糖尿病—インスリンの合成・分泌から作用まで—；mTORを介するインスリンシグナル伝達抑制機構」。第73回日本生化学会大会，2000，10，横浜。
- 33) 岸田みか，中村典雄，鎗木優子，山崎継敬，岩田 実，山崎勝也，佐藤 啓，笹岡利安，浦風雅春，大角誠治，小林正：糖尿病患者にみられた皮膚潰瘍に対してリポPGE₁が有効であった2例。第10回北陸MMC研究会，2000，10，金沢。
- 34) 松田美千代，松井祥子，松村理恵子，澤田愛子，小林正：富山市医師会地域の医療機関，社会福祉関連施設における在宅酸素療法の現状と課題。第1回富山医科薬科大学看護学会，2000，10，富山。
- 35) 岩田 実，多喜博文，杉山英二，丸山宗治，沢崎茂樹，原田修次，篠田晃一郎，能澤 孝，小林正：虚血性心疾患を合併した側頭動脈炎の1例。第34回北陸臨床免疫・症例検討／研究会，2000，

11, 金沢.

36) 河岸由紀男, 荒井信貴, 谷口浩和, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 山下直宏, 大崎緑男, 三田晴久, 谷口正実, 秋山一男: アスピリン喘息におけるアラキドン酸代謝酵素遺伝子プロモーター多型の検討. 第27回北陸アレルギー懇話会, 2000, 11, 金沢.

内 科 学 (2)

教 授	井 上 博
助 教 授	高 田 正 信
講 師	麻野井 英 次
講 師	藤 木 明
助 手	高 嶋 修 太 郎
助 手	能 澤 孝
助 手	供 田 文 宏
助 手	平 井 忠 和
助 手	亀 山 智 樹
助 手	水 牧 功 一
文部技官	野 手 姫 代 美

◆ 著 書

- 1) 井上 博編著:「不整脈を読み解く」文光堂, 東京, 2000.
- 2) 井上 博: 心不全における不整脈の治療. 「循環器疾患最新の治療2000-2001」篠山重威. 矢崎義雄編集, 259-261, 南江堂, 東京, 2000.
- 3) 井上 博: 不整脈と自律神経機能. 「Annual Review循環器 2000」杉下靖郎, 門間和夫, 矢崎義雄, 高本眞一編集, 52-58, 中外医学社, 東京, 2000.
- 4) 井上 博: 心房粗動・細動. 「Practical Seminar 不整脈 第2版」比江嶋一昌編著, 220-233, 日本医事新報社, 東京, 2000.
- 5) 井上 博: 不整脈と自律神経. 「目でみる循環器病シリーズ1 不整脈 改訂版」, 笠貫宏編集, 48-54, メディカルレビュー社, 東京, 2000.
- 6) 井上 博: 不整脈治療薬との併用における β 遮断薬. 「 β 遮断薬のすべて」萩原俊男, 築山久一郎, 横山光宏編集, 262-267, 先端医学社, 東京, 2000.
- 7) 麻野井英次: 心臓病の運動療法. 「今日の治療指針 2000」多賀須幸男, 尾形悦郎編, 393-394, 医学書院, 東京, 2000.
- 8) 麻野井英次: 薬物療法. 「看護のための最新医学講座 第3巻 循環器疾患」永井良三編集, 407-417, 中山書店, 東京, 2000.
- 9) 藤木 明: 洞性不整脈, 洞徐脈, 洞頻脈. 「不整脈を読み解く」井上 博編, 2-5, 文光堂, 東京, 2000.
- 10) 高嶋修太郎: 脳卒中急性期. 「神経科精神科卒後研修マニュアル」倉知正佳, 鈴木道雄, 斉藤治編, 125-130, 星和書店, 東京, 2000.
- 11) 泉野 潔, 高田正信: 高度の蛋白尿を伴う腎実